

## 三木谷浩史氏 特別講演・座談会 「日本を変えるイノベーション」

2024年6月27日（木）、楽天グループ株式会社代表取締役会長兼社長の三木谷浩史氏を迎え、大学生、大学院生、高校生を主対象として、特別講演会と座談会を早稲田大学大隈記念講堂大講堂にて開催いたします。特別講演では、「楽天が考えるイノベーション戦略」と題して、わが国のイノベーションを牽引するために楽天グループが推進しているビジネスや今後の展開をお話しいただきます。座談会では、現在、起業家として活躍している早稲田大学学生である、株式会社 Urth 代表取締役社長の田中大貴さん、Artics 代表の中辻新さん、株式会社 Uravation 共同創業者兼 COO の小林葵さんと三木谷浩史氏、一般財団法人大川ドリーム基金理事長の井上智治氏が「日本を変えるイノベーション」と題して議論いたします。モデレーターは東出浩教早稲田大学ビジネススクール教授が務めます。

参加希望の方は、以下の URL より、事前にお申し込みください。早稲田大学教職員・研究員、共催・協賛の関係者も参加できますので、奮ってご参加ください。

- 日時：6月27日（木）17時30分から19時30分
- 会場：早稲田大学大隈記念講堂大講堂 〒169-0071 東京都新宿区戸塚町 1-104  
<https://maps.app.goo.gl/TCjW8JUFURWWNoPB9>
- 対象：大学生、大学院生、高校生、早稲田大学教職員・研究員、共催・協賛の関係者
- 参加費：無料
- 定員：500名
- 参加申込み先：<https://forms.gle/8aDnuGtEzevaAhmE8>
- 参加申込み締切：2024年6月25日（火）17時  
※定員を超えたら、期日前でも締切となりますので、ご了承ください。
- 合同主催：早稲田大学理工学術院、一般財団法人大川ドリーム基金
- 共催：早稲田大学アントレプレヌール研究会、早稲田大学グローバル科学知融合研究所、早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構
- 協賛：ベンチャー稲門会、Beyond 2020 NEXT PROJECT、楽天モバイル株式会社
- 後援：新経済連盟
- 開場・受付開始：6月27日（木）16時45分
- プログラム

17時30分～17時35分 開会挨拶 本間 敬之 早稲田大学 常任理事

17時35分～18時20分 特別講演 「楽天が考えるイノベーション戦略」  
三木谷 浩史 楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長

18時20分～18時40分 質疑応答

18時40分～19時20分 学生起業家との座談会 「日本を変えるイノベーション」

### 【登壇者】

三木谷 浩史 楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長

井上 智治 一般財団法人大川ドリーム基金 理事長

田中 大貴 株式会社 Urth 代表取締役社長

中辻 新 Artics 代表

小林 葵 株式会社 Uravation 共同創業者・COO

### 【モデレーター】

東出 浩教 早稲田大学ビジネススクール 教授

19時20分～19時30分 閉会挨拶 菅野 重樹 早稲田大学理工学術院 学術院長

以下の QR コードから  
も参加申込ができます。



### 【総合司会】

朝日 透 早稲田大学理工学術院 教授

## 【登壇者】

### 三木谷 浩史（楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長）



1965 年神戸市生まれ。1988 年一橋大学卒業後、日本興業銀行（現 みずほ銀行）に入行。1993 年ハーバード大学にて MBA 取得。日本興業銀行を退職後、1996 年クリムゾングループを設立。1997 年 2 月株式会社エム・ディー・エム（現 楽天グループ株式会社）を設立し、同年 5 月インターネット・ショッピングモール「楽天市場」を開設。現在、楽天グループとして、E コマース、フィンテック、デジタルコンテンツ、通信など多岐にわたる 70 以上のサービスを提供する。また、東京フィルハーモニー交響楽団理事長、一般社団法人新経済連盟の代表理事、医薬品・医療機器の開発および販売を行う Rakuten Medical, Inc. の副会長兼 Co-CEO も務める。近著に「成功の法則 100 ケ条」（<https://books.rakuten.co.jp/rb/17857966/>）（幻冬舎）。

### 井上 智治（一般財団法人大川ドリーム基金 理事長）



1955 年宮城県気仙沼市生まれ、大阪府立天王寺高校、東京大学法学部、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士卒。1980 年～1994 年弁護士業務を行う。1994 年に株式会社井上ビジネスコンサルティングを設立、代表取締役就任。主に経営戦略、M&A、新規事業創業等のアドバイザー業務を務め現在に至る。また、現在、日本スポーツ産業学会理事長、株式会社楽天野球団取締役、一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン代表理事、株式会社美術出版社取締役会長、早稲田大学商学学術院客員教授なども務めている。一般財団法人大川ドリーム基金理事長には 2010 年就任。当財団は CSK・セガグループの創業者大川功氏からの寄附に基づき設立。大川氏は以前から日本のベンチャー企業家の育成支援活動を行っており、その意思を生かすため、早稲田大学ビジネススクールにおいて「グローバル・ベンチャー企業の創出と経営-起業家の価値創造戦略」という寄附講座を 2012 年から開講し、ビジネススクールの学生・理工学部の学生を中心に、早稲田大学の全学部の学生が参加する授業となっている。

### 田中 大貴（株式会社 Urth 代表取締役社長）



1997 年東京都生まれ。創造理工学研究科博士課程 2 年・建築学専攻。小学生から高校まで転校を経験し、高知県、広島県で育つ。大学入学後、建築士の「空間をデザインする力」が建築業界内でしか活用されておらず、もっと他の領域でも活用することで、空間の不足を解決し、世の中をよくできると思い、Urth を起業。仮想現実空間の建築の提供から耐震設計スキルの輸出まで、空間にまつわる課題を解決するサービスを提供。

### 中辻 新（Artics 代表）



2001 年生まれ。政治経済学部 4 年。ヨーロッパで育ちボーカリストとして合唱世界大会優勝や天皇陛下への公演を経験。早稲田大学入学後、当事者として感じたコンテンツ業界の課題解決を目指して Artics を創業。「21 世紀のルネサンスを奮い起こし、誰もが好きなことで生きる世界を創る」をミッションに、米国学生向けに「好きで繋がる」コンテンツ SNS”artics”を運営。米トップアクセラレーターに採択され、シリコンバレーのオフィスで 5 カ国から集まる計 40 名のチームで活動。「Forbs JAPAN 30 UNDER 30 2023」選出。

### 小林 葵（株式会社 Uravation 共同創業者・COO）



2004 年東京都生まれ。早稲田大学政治経済学部 3 年生。国内最大規模の生成 AI 学生団体「早稲田 AI 研究会」を創設し、共同代表を務める。株式会社ギブリーにてインターン生として、上場企業に対する AI コンサルティングを行う。2024 年 2 月、株式会社 Uravation を設立し、生成 AI の活用研修や受託開発、AI 顧問などのサービス提供を開始する。X において生成 AI に関する情報発信を行い、様々な生成 AI ツールのアンバサダーも務める。現在、某ヘクトロン企業とコラボレーションした生成 AI ハッカソンの主催に取り組んでいる。

## 【モデレーター】

### 東出 浩教（早稲田大学ビジネススクール 教授）



神奈川県平塚市出身、神奈川県立平塚江南高等学校卒、慶應義塾大学経済学部卒業。鹿島建設入社後、ロンドン大学インペリアルカレッジ修士課程修了（MBA）、同大学大学院博士課程修了、日本初となるベンチャー研究における博士号（Ph.D.）を取得。早稲田大学大学院ビジネススクール教授。早稲田大学 WBS 研究センターアントレプレヌール研究会および経営と脳科学研究部会代表理事。早稲田大学関連のベンチャーキャピタルであるウェルインベストメント取締役会長。早稲田大学出身のベンチャー企業経営者の会であるベンチャー稲門会発起人。日本ベンチャー学会理事。慶應義塾大学、九州大学ほか多数の大学で客員教員、経済産業省 SBIR フェーズ3 統括プロジェクトマネジャー（現任）、ほか内閣府、文部科学省、中小機構、JST、NEDO、NBC などにおいて各種公的委員会委員多数を歴任。専門領域は、起業、ベンチャーキャピタル、クリエイティブ・プロセス、ビジネス倫理と哲学など。監査役としてベンチャー企業上場に携わり、国内外の若者にアントレプレナーシップ教育を実践、多くの起業家を誕生させている。

## 【開会挨拶】

### 本間 敬之（早稲田大学 常任理事）



1987 年早稲田大学理工学部卒業、1992 年同大学院博士課程修了（博士(工学)）。早稲田大学助手、専任講師、助教授を経て 2005 年より先進理工学部応用化学科教授、2021 年より日本医科大学客員教授併任。2006～2010 年 先進理工学部教務主任、理工学術院長補佐、2018～2022 年 早稲田大学教務部長、2022 年 同理事を経て 2023 年より同常任理事（副プロボスト、教学総括、研究推進、産学連携担当）。2018 年より文部科学省卓越大学院プログラム「早稲田大学パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム」副プログラムコーディネーター、2024 年より JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム「早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム」事業統括。専門はナノスケールの機能表面・界面化学、エネルギーデバイス。2010 年米国電気化学会研究業績賞、2015 年電気化学会学術賞、2003 年より米国電気化学会誌エディター、2021～2023 年 Vice President, International Society of Electrochemistry（国際電気化学会 副会長）。

## 【閉会挨拶】

### 菅野 重樹（早稲田大学理工学術院 学術院長）



1981 年早稲田大学理工学部機械工学科卒業。修士、博士課程を経て 1986 年早稲田大学助手。1989 年つくば万博（1985 年）日本政府テーマ館で展示実演された鍵盤楽器演奏ロボットに関する研究により工学博士。専任講師、助教授を経て 1998 年より教授。現在、早稲田大学理工学術院創造理工学部総合機械工学科教授。2014～2020 年早稲田大学理工学術院創造理工学部長兼研究科長。2020 年より早稲田大学理工学術院長。早稲田大学次世代ロボット研究機構ヒューマン・ロボット共創研究所所長。人間共存ロボット、機械における心の発生などの研究に従事。2007～2012 年 International Journal of Advanced Robotics 編集長。2017 年計測自動制御学会会長。2019 年より IROS (IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems) Steering Committee Chair。2023 年より日本ロボット学会会長。2017 年文部科学大臣表彰科学技術賞。IEEE、日本機械学会、計測自動制御学会、日本ロボット学会のフェロー。2020 年より JST ムーンショット型研究開発制度目標 3「一人に一台一生寄り添うスマートロボット」プロジェクトマネージャーを務める。

## 【総合司会】

### 朝日 透（早稲田大学理工学術院 教授）



福井県生まれ、東京育ち。都立白鷗高校卒。1986 年早稲田大学理工学部応用物理学科卒業、1992 年博士(理学)、2007 年経営学修士を取得。早稲田大学グローバル科学知融合研究所所長、ナノ・ライフ創新研究機構副機構長、早稲田大学「WASEDA-EDGE 人材育成プログラム」副実行委員長、早稲田大学先進理工学部教務主任を務め、学際的研究を推進し、イノベーション人材の育成に取り組む。JST 研究成果展開事業大学発新産業創出プログラム「Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)」プラットフォームコアメンバー、ムーンショット型農林水産

研究開発事業目標 5 の「地球規模の食料問題の解決と人類の宇宙進出に向けた昆虫が支える循環型食料生産システムの開発」副プロジェクトマネージャーおよび「藻類と動物細胞を用いたサーキュラーセルカルチャーによるバイオエコノミカルな培養食料生産システム」プロジェクトメンバー、JST 創造科学技術推進事業(ERATO)「山内物質空間テクニクスプロジェクト」プロジェクトマネージャー、尾道市ウェルビーイング政策アドバイザーを務める。専門はキラル科学、生物物性科学、結晶光学、機能性薄膜、対称性の破れ、循環型食料生産システムの研究。